

政治

県政報告シリーズ

山形県の目線

vol.
51

●山形県議会議員

矢吹 栄修 (やぶき・えいしゅう)

文芸通信 2025年 春号

2025年 春 号

副議長卒業、
新スタジアムに大きな一歩

この度、一年間務めさせていただいた副議長を退任致しました。前号でも報告しましたが、非常に忙しかったのと同時に、さまざまな貴重な経験を積みました。2月28日には、議長代理として再び議長席に座って一般質問を取り仕切りましたが、当日は着

物議会ということで、おそろく史上初、道服にて議長席に着きました。

史上最年少の副議長を経験できたのも皆さまのご支援のおかげと感謝申し上げます。副議長は卒業しましたが、今後も全力でまい進いたします！



1 新スタジオの正念場

報道にもあったように、新関茂天童市長と（株）モンテディオ山形の相田健太郎代表取締役社長が知事に面談し、国の第二世代交付金とともに申請するべく要望いたしました。

援のマイクも握って頂き吉村知事が当選しました。こうした友好ムードもあってか、今回の大きな一歩へと繋がったと思います。これまで粘り強く交渉を進めてきた山本前天童市長

県はこれまで、県有地で新関新天童市長、天童市のある県総合運動公園南側の職員に感謝です。

今回大きかったのは、工
破内閣が打ち出した第二世
交代交付金の存在です。こ
は旧デジタル田園都市国家
構想交付金をグレードアップ
させたもので、一事業に
対して県と市が同時に申請

することができ、県は最大15億円、市は10億円の負担をすれば、同額を国が交付するというものです。

つまり、天童市だけの申請だと、国からの交付金は10億円に留まりますが、県もともに申請すれば最大25億円の交付金が出る、ということなのです。

この交付金の申請は6月までが期限ですから、準備と手続きを考えると3月中には決断しないといけなかった、まさに正念場だったのです。

県がいくら負担するかは未定で、それによって交付金も増減しますが、知事が

通してスタジオが人の集まる場所にしてこそ、スタジオ 不可欠ですし、増える交流

2 スタジウムを核としたまちづくり

交渉のテーブルに着いてく
れたことは大きな一歩であ
ったことがわかるでしょう
業 企業版ふるさと納税や
融資など、実現可能な資金
調達計画が申請には必要不

対して理解してもらえないよ
う動くのが、今後の私たち
の仕事となります。

くるのが、請願が採択された芳賀地区の住宅開発です。イオンモール天童の進

可欠ですので、急ピッチですと、思われ、着実に両事業を進めていかねばなりません。同時に、スマートＩＣ周辺に流通団地も含めた新たな開発が見通せます。さらに、これと連動して町と三市二町で広域都市圏を形成していますので、開発面積の配分をめぐって他市町と調整しなければならぬのです。この会議などは県が旗振

掘点化、外国人選手への対応など、様々な要素が関わり、しかし、そのためには農地などを守る市街化調整区

づくりに、今後も注力していきたいと思っています。

二
するこ
行政に
など

3 まちづくり

3 今後の大きなまちづくり

トピックス

文教公安常任委員会に配属

今回、文教公安常任委員会に配属されました。私は教育関係
を最重要視しているので非常にやりがいがありますし、警察関
連も信号や交通安全など重要案件があります。さらに特別委員
会は防災関連の委員会に配属されましたが、昨年の暴雨災害や
雪害など、くらしの安心安全は重要課題ですので、こちらも注
力していきます。

予算特別委員長、議会運営委員長、副議長と連続で歴任したので、慣例上、一般質問や予算質問が二年ほどできなかったのですが、今年度はたまっている質問をぶつけていきたいと思いをます。

ご意見をお寄せ
ください。
皆様の声
をお届けします。

- 政治に関すること
- 日々の生活に関すること
- 山形県政・天童市政に関する疑問・質問など

ご意見はこちらまで

TEL 023(653)2496
FAX 023(653)1730

〒994-0049 山形県天童市南町2-1-29 メーブル2号

矢吹えいしゅう
公式ホームページ
<https://yabusyu.jp>

